生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば

Hirosaki National Hospital
2015.2
第162号

とことん冬を楽しもう！！－第３９回弘前城雪燈籠まつり－

去る２月７日（土）から１１日（水）の５日間、弘前公園を会場に「弘前城雪燈籠まつり」が開催されました。会期中は、暖気・雨の前半、今年最強の寒波到来の後半と日によって天候は大きく異なりました。最終日は晴れの穏やかな１日となり、５日間で22万人の人出となりました。

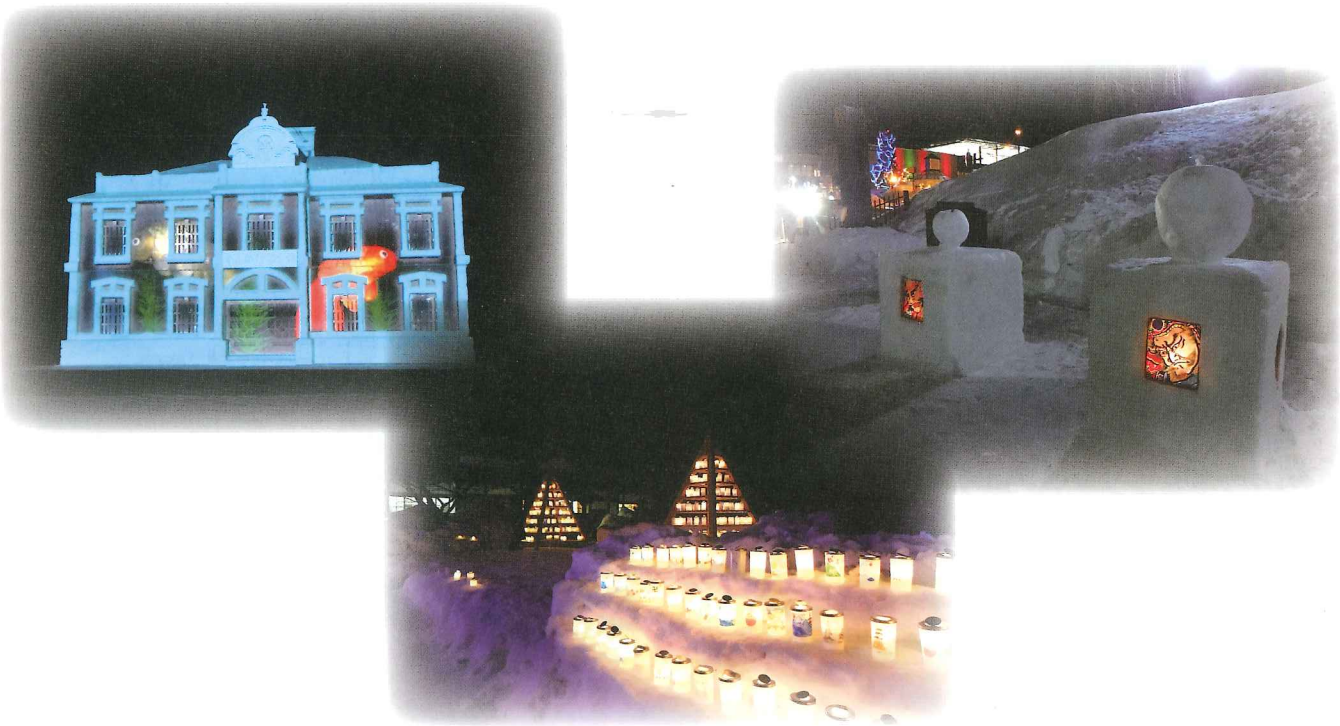
メイン会場四の丸に造られた今年の大雪像は、平成２２年にもお目見えした「青森銀行記念館」。この「青森銀行記念館」は、明治３７年１１月、名匠の誉れ高い大工棟梁「堀江佐吉」の手により、「旧五十九銀行本店本館」として建てられました。昭和４７年５月には、その洋風建築の水準の高さから国の重要文化財に指定されています。

今年は、この威風堂々たるルネッサンス調洋風建築の大雪像に、津軽の四季・津軽錦（金魚ねぷたのモデルといわれる津軽の金魚）など、弘前をイメージした映像を映し出すプロジェクションマッピングが毎日行われました。「弘前冬花火」も２日企画され、７日は「序章」、１０日は「大花火」、約８０発の煌びやかな花火が、雪の降る夜空を輝かせていました。

ゆるキャラお散歩や、雪上サッカー、最終日１１日には、チームでタスキをつなぎ、弘前公園内の特設コース（１周1.3km）を３時間で何周できるかを競う「弘前城リレーマラソン冬の陣」も開催され、盛りだくさんのまつりとなりました。

雪を、冬を、みんなでとことん楽しもう！！そんな元気をたくさんもらえた気がしました。

地域医療連携係：工藤　真淑



医療安全管理研修を終えて

「医療安全管理の現状について」

１月２９日から３日間、医療安全管理研修「医療安全管理の現状について」をテーマとして実施させて頂きました。

前回は前任者の「医療事故に関する民事・刑事・行政上の責任」がテーマでしたので、今回は「実際に医療事故があり訴訟を起こされた事例」についてお話をしました。

当国立病院機構には各地区に顧問弁護士がおり、実際の裁判を私も何度か経験していますので、実際に裁判を行う際に顧問弁護士から病院側に何を望んでいるのかをメインにしました。

医療訴訟を起こされない手法を病院職員が学ぶ必要があるからです。

患者さんご家族との接し方、話し方、カルテの記載で気を付けなければならないこと、そして、実際の裁判では相手側から言われること等、普段業務では絶対に分からないであろうことを皆様にお伝えしたかったのです。

そして、何より皆様にお伝えしたかったことは、問題が起きた、若しくは起こりそうな場合は、なるべく早く連絡して欲しいということです。

病院ではチームで医療を行う場です。
決して一人で抱え込まずに、すぐに上司、同僚、リスクマネージャーに相談するよう、
よろしくお願いいたします。

事務部長：河野　司

院内感染対策研修会

「インフルエンザウイルス・ノロウイルス～罹らない・うつさない～」

１月 29 日から、3 日間にわたって全職員を対象に院内感染対策研修会を開催しました。流行のピークを迎えていることもあり、3 日間で 158 名の職員が参加しました。

私たち医療者は、免疫力が低下している患者さんに接する機会が多くあります。院内感染を予防するためには、自分が罹らない、他の人にうつさない、そして院内で広げない（伝播させない）ことが大切です。今回の研修では、家族がインフルエンザやノロウイルスに罹った時の家庭内感染予防対策も加えてお話ししました。また、院内感染対策では、実際に飛沫（鼻水や唾液）が咳やくしゃみでどれくらい飛ぶか、嘔吐物の処理はどう行うのかなど動画を加えた内容です。研修後のアンケート結果では、この動画が実践に役立つと、全員から高い評価をいただきました。これからも実践に役立つ院内感染対策研修を開催し、職員の院内感染対策に対する意識・知識を高めて、より安全な医療環境を提供していきたいと考えています。

感染管理認定看護師：對馬　春子

節分の日　豆まき会

２月３日、節分の日。院内の風の子保育園では、今年も豆まき会が行われました。朝からそわそわ・ドキドキの子供たち。「節分の由来」などについての紙芝居やお話を聞いて心の中の「いじわる鬼、泣き虫鬼、おこりんぼ鬼…をやっつけるぞぉ～」と豆まきをしていると、赤鬼が「悪い子はいねぇが～」とやって来て、子供たちはびっくり !! 慌てて逃げ回り、泣いて保育士の後ろに隠れたりしましたが、大きい子供たちは勇気をだして「鬼は外～福は内～」と鬼退治を頑張りました。鬼が帰った後は、おじゃるまるでおなじみの子鬼トリオ（ｱｶﾈ･ｷｽｹ･ｱｵﾍﾞｰ）と一緒にゲームを楽しみ、給食では自分で作った手巻きずしの恵方巻きを西南西を向いておいしく食べ楽しい節分の日を過ごしました。今年も元気いっぱい笑顔で過ごせることと思います。

風の子保育園園長：内山　明子

【シリーズ　緩和ケア】　『化学療法中の食事について』

１２月１８日（木）に開催された緩和ケアチーム勉強会にて、副作用ごとの食事の工夫についてお話しました。当院でも、「ご飯のにおいがイヤ」「見ただけでおなかいっぱいになる」「さっぱりしたものなら食べられそう」「口内炎がしみて食べられない」などの声が多く聞かれます。そのような場合、「冷たくするとにおいが抑えられる」「半分量で盛付する」「フルーツや冷奴をつける」「常温で薄味」などの対応で、少し食事量が上がる場合があります。

食べたいと思っているのに食べられない、また、そのような人が身近にいてどんなものを作ってあげたらいいんだろう？と悩んだ時の参考になればよいと考えています。

その時に食べたいものというのは、人によって様々ですが、少しでも食事の手助けとなれるよう栄養管理室でもサポートしていきたいと思います。

緩和ケアチーム管理栄養士：仁和　愛里

外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表　（2015年２月１日現在）

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		石岡佳子	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
		－	－	－	石岡佳子	－
消化器・血液内科		間山　恒	－	高杉かおり	－	間山　恒
		高杉かおり	松木明彦	松木明彦	間山　恒	松木明彦
		佐藤年信	高杉かおり	佐藤年信	高杉かおり／松木明彦	佐藤年信
		石黒　陽	石黒　陽	－	石黒　陽	石黒　陽
小児科		杉本和彦	佐藤　工	佐藤　啓	佐藤　工	杉本和彦
		三上珠希	藤田　円	三上珠希	藤田　円	佐藤　啓
外科		田澤俊幸	三上勝也	田澤俊幸	神　寛之	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	三浦和知	秋元博之	秋元博之	休診（手術）	秋元博之
		神　裕道	三浦和知	三浦和知		三浦和知
		－	－	神　裕道		神　裕道
	午後	－	－	－		休診
脳神経外科		－	－	木村正英	－	－
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	● 予約	● 手術／検査	● 予約	● 手術／検査	● 予約
泌尿器科	午前	神村典孝	神村典孝	弘前大学医師	神村典孝	神村典孝
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		木村秀崇	丹藤伴江	丹藤伴江	● 妊婦健診（一般外来休診）	木村秀崇
		木村恵理子	谷口綾亮	田中加奈子		松村由紀子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	● 手術（一般外来休診）	黒田令子	黒田令子
		三國谷由貴	－		－	－
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	－	－	川口英夫（午後）	－	川口英夫（午後）
女性専用外来		杉本　菜穂子（※予約制／第１・第３火曜日午後診療）				
セカンドオピニオン		－	－	－	今　充	－

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★　あなたの川柳をお待ちしています。

広報誌編集委員会において投稿されました川柳の選出を行いましたが、今月は掲載まではいたりませんでした。来月号に期待をしております。

お知らせ

患者相談窓口

『患者相談室』のＭＳＷ（メディカルソーシャルワーカー）が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元

Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構 弘前病院

責任者：副院長　小田桐　弘　毅

〒036-8545　弘前市大字富野町１番地
ＴＥＬ０１７２－３２－４３１１
ＦＡＸ０１７２－３３－８６１４
ＵＲＬ　http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/